

第2回

# 新技術発表会 in 山形

## プログラム

**日時** 2025年10月15日(水) 13時00分～17時25分 受付開始:12時～

**会場** 山形国際交流プラザ(山形ビッグウイング)大会議室 山形市平久保100番地 ☎023-635-3100

**主催** 建設新聞社

**後援** 国土交通省東北地方整備局、(一社)日本建設業連合会 東北支部、(一社)日本道路建設業協会 東北支部、(一社)建設コンサルタンツ協会 東北支部、(公社)全国上下水道コンサルタント協会 東北支部、(公社)日本技術士会 東北本部、(一社)日本建設機械施工協会 東北支部、(一社)東北建設業協会連合会、(一社)山形県建設業協会

13:00～13:05	主催者あいさつ	
13:05～13:35	①(株)オリテック21	橋梁用排水パイプ「鑄心管」
13:35～14:05	②プレストネット工法協会	プレストネット工法
14:05～14:15	休憩	
14:15～14:45	③(株)オプティム	LiDAR付きタブレット等を使用した3次元測量アプリケーション「OPTiM Geo Scan」
14:45～15:15	④(株)トータル環境	高耐久保護シート「防災イエローシート」
15:15～15:45	⑤寿建設(株)	3Dスキャン計測アプリ「Scanat」
15:45～15:55	休憩	
15:55～16:25	⑥丸栄コンクリート工業(株)	アームローラー工法
16:25～16:55	⑦日建リース工業(株)	ネットワークカメラと現場ワイヤレスLAN
16:55～17:25	⑧(株)森環境技術研究所	高含水泥土改良剤MTシリーズ

### お問い合わせ

(株)建設新聞社 営業部 TEL 022(221)4604 FAX 022(268)6416 <https://www.kensetsu-sinbun.co.jp/>

# 3Dスキャン計測アプリ「Scanat-D」

寿建設(福島市)

営業管理室 大福 和也氏

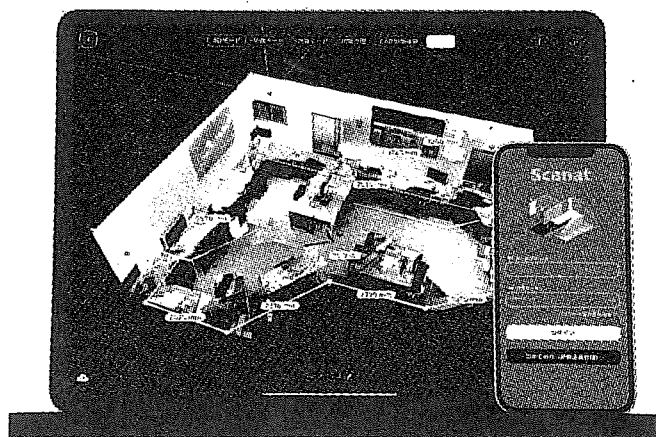
当社は、20年以上前からトンネル補修工事にも積極的に取り組むなど、インフラメンテナンスの現場経験が長く、以前よりメンテナンス対応や施工時の問題意識を強く持っていた。中でも、道路トンネルや水路トンネル、ボックスカルバートの状況を展開図に



反映する際、現場において時間や労力をかける必要性が発生していた。そんな折、2023年に建築物のリフォーム等の空間計測を目的に開発された3Dスキャンアプリ「Scanat」と出会った、このアプリがインフラメンテナンス現場に利用可能であることを直感し、開発会社であるnat株式会社(東京都)に協力を申し入れ、土木用に適用したのがこの「Scanat-D」となる。

「Scanat」は高額の初期投資や高額な機器、特別な技術が必要とせず、iPhoneやiPadのライダースキャナー機能を使用したアプリで、初心者でも3Dデータを簡単に作成でき、誰でも

簡単に現実空間を高精度にデジタル化することができアプリ。これをインフラメンテナンスに取り入れた場合、延長約70mのボックスカルバートでは5分程度で撮影が完了し、実際に撮影されたデータ上でポ



イントを指定すると計測を即座に行うことができる。ただ、曲面で構成されることが多いトンネル構造物では、曲面での長さを計測することに苦慮していたため、nat株式会社に追加アイテムとして作成を打診し、曲線計測が可能となる「Scanat-D」を完成させた。ライダースキャナー機能を使用し、曲線を計測する技術は世界初の技術となるもの。本機能が実装されたことにより時間が大幅に削減することができるとともに、3Dモデル取得済みのため計測漏れによる現場に赴いての計測や打ち合わせを行う必要がなくなり、人件費や移動に伴う経費も削減することができるようになった。

国土交通省の「働き方改革の実現に向けた効率的な建設工事の促進事業」事例集に掲載されたほか、YouTubeに活用事例動画をまとめているのでご覧いただきたい。